

平成28年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト
採択案件一覧

1. 調査研究事業(商工会議所23件)

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	北見商工会議所 (北海道)	【オホーツクの魅力を集めて認知度アップ！ 地域連携事業】 オホーツクという広大なエリアにおいて、6商工会議所による広域連携のもと「旅の目的」となり得る中核的観光資源のリストアップとブラッシュアップを行い、ニーズ調査によるターゲティングのもと、効果的な情報発信について検討し、着地型観光に取り組む。
2	富良野商工会議所 (北海道)	【まち歩きナビゲーション開発事業】 富良野市に來街する観光客（インバウンド含む）へのホスピタリティー向上およびまちなか回遊の向上のため、スマートフォンを活用した専用アプリの開発を行うための調査を実施する。
3	奥州商工会議所 (岩手県)	【伝統的工芸品「岩谷堂筆筒」の技術をいかした新商品開発・普及事業】 奥州市江刺地区で長年に渡り受け継がれてきた伝統的工芸品「岩谷堂筆筒」の技術をいかしながらも現在の消費者ニーズに合う新商品を開発し、岩谷堂筆筒と並ぶ主力商品・主力ブランドとして成長させることを目指す。
4	久慈商工会議所 (岩手県)	【久慈産「琥珀」を活用した新商品開発及び地域ブランディング事業】 商業採掘としては国内で唯一の琥珀産出地として「琥珀のまちづくり」を進めるため、琥珀の削屑を活用した新商品の開発と「琥珀のまち・久慈」を全国に定着させることを目的とした地域ブランディング事業を行う。
5	秋田商工会議所 (秋田県)	【海外にも通用する工芸ブランド化～芸術と文化の街あきた～】 伝統工芸技能を地域資源と捉え、商品開発および販路開拓の推進に向け、商工業者と伝統的工芸品事業者との連携体制の構築および本市の伝統工芸の現状、市場ニーズ、商品開発の方向性等に関する調査研究・戦略策定を行う。
6	酒田商工会議所 (山形県)	【「山居朝市」と「はぐくみ食」プロジェクト調査研究事業】 ①酒田の観光のシンボルでもある「山居倉庫」を活用して「食」を活かした「山居朝市」の調査研究を行う。 ②健康な体を作るための食事で、特に妊活を効果的に支える献立『はぐくみにゅー』の調査研究を行う。
7	長井商工会議所 (山形県)	【軟水が育む「山形長井・菊芋の里」6次産業推進事業】 循環型社会を標榜し地産地消を推進する当地域において、まだ市場が確立されておらず、市場開拓できる可能性が高い地域資源「菊芋」を食材とした商品開発を通じ、6次産業化による新たな事業を創出する足掛かりとする。
8	天童商工会議所 (山形県)	【天童の歴史・人物・文化を活用した誘客増の調査研究】 織田信長の抜群の知名度をいかし、幕末の38年間天童を治め、織田藩終焉の地である「天童織田藩」をブラッシュアップして、織田にまつわるまち歩きを提案することにより商店街の賑わいと交流人口の拡大を図る。
9	糸魚川商工会議所 (新潟県)	【古代浪漫・賢く美しい「奴奈川姫」ブランド化プロジェクト】 奴奈川姫は「古事記」や「出雲風土記」などの古代文献に登場する高志国の姫であるといわれている。これらの史実にある日本最古のラブロマンスを活かし賢く美しい、母と子の愛情イメージを表現した商品開発、発信を行う。
10	十日町商工会議所 (新潟県)	【「火焰型土器のクニ 十日町 縄文ツーリズム」プロジェクト事業】 国宝「火焰型土器」や「雪国文化」について調査研究を行う。また、この地域資源を生かし地域ストーリー化するとともに観光開発や特産品商品開発に取り組む。
11	高崎商工会議所 (群馬県)	【都市観光の推進による域外資金獲得に向けた新観光ルートの発掘】 高崎市に現在建設中の都市集客施設や中心市街地のまちなか観光、市町村合併により加わった新しい観光資源の魅力を活かすためのアクションプランを作成し、より多くの方に高崎市の魅力を感じてもらおう取り組みを行う。

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
12	越谷商工会議所 (埼玉県)	【 レイクタウンのシャワー型拡散を通じた集客交流ビジネスの創出 】 年間5,000万人超が来訪するレイクタウンは国内でも最大級の集客拠点。その優位性を活かした新たな集客交流ビジネスを創出するためのフィジビリティ調査を実施する
13	佐原商工会議所 (千葉県)	【 佐原の大祭を活用した通年型観光資源作成プロジェクト 】 佐原ブランドを確立するため、「佐原の大祭」を通年型観光資源として活用し、それによる満足度向上ならびに交流人口拡大のための道筋を検討、その成果を地域経済発展につなげることを目的とした調査事業を実施する。
14	島田商工会議所 (静岡県)	【 島田ふ〜ど（風土×FOOD）プロジェクト 】 東海道の宿場町として栄えてきた島田市の魅力を再発見するとともに（仮称）島田グルメとなりうる名物料理創作に向けて地域資源の掘り起し、農作物の効能や市民意識に関する調査を行い、地域資源の活用方法について研究を行う。
15	高山商工会議所 (岐阜県)	【 「飛騨の匠街道」街道観光事業 】 飛騨高山に残る『飛騨の匠』が歩いた「飛騨の匠街道」を活用してロングトレイルの整備を図り、歩き旅による広域観光の活性化を目指す。
16	豊田商工会議所 (愛知県)	【 自動車部品の廃材や端材を活かしたアップサイクルプロジェクト 】 豊田市は自動車産業を中心とした製造業が盛んな地域である。その一方、製造過程で様々な廃材や端材が生じる。それらにアイデアやデザインで新しい価値観を付加した商品を試作・開発することで、新たなものづくりを展開する。
17	亀山商工会議所 (三重県)	【 遊休資産を活用した創業促進と雇用創造による地域の活性化 】 高齢化に伴う小規模事業者の減少等、亀山市の抱える地域課題の中、地域コミュニティビジネスを創出するための調査研究を実施し、空き店舗を活用するとともに潜在的な創業希望者の発掘と雇用創造、地域活性化を図る。
18	大津商工会議所 (滋賀県)	【 「（仮称）みーつびわ湖・大津」開催に向けた調査研究事業 】 これまでのイベントに加えて、体験プログラムやまち歩きガイドツアーなどを組み入れ、中心市街地エリアをはじめ各地域に人を呼び込む流れをつくることで、地域の観光振興、商店街や店舗等の活性化のきっかけとにぎわいの創出に繋げる。
19	伊丹商工会議所 (兵庫県)	【 地域資源（希少糖・酒等）を活用した特産品開発プロジェクト 】 清酒発祥の地・伊丹の百薬の長である酒、酒の副産物であるアミノ産豊富な酒粕、ゼロカロリーで様々な健康効果が期待される希少糖、ビタミンC豊富なたみまるレモン・文旦。これら地域資源を活用した商品を開発するために調査研究を行う。
20	長門商工会議所 (山口県)	【 自然酵母ベーカリーの試作研究及び地域資源フル活用ネットワークの構築 】 地域資源を農商工福連携により地域内サプライチェーン（情報共有伝達、福祉参加型物流）を整備することにより、生産から販路までのネットワークを整備する。パイロット事業として自然酵母のベーカリー試験開発に取り組む。
21	飯塚商工会議所 (福岡県)	【 長崎街道、八木山高原を活かしたまちおこし・地域活性化プロジェクト 】 「長崎街道（内野宿・飯塚宿）」や「八木山高原」を地域資源として活用する。街道沿いの市町村との広域連携や旧伊藤伝右衛門邸など既存の観光資源を活かしたまちおこし・地域活性化事業の調査・研究を行う。
22	松浦商工会議所 (長崎県)	【 技術力の見える商品開発とブランド化を目指したファッションプロジェクト 】 地域経済を支えてきた繊維産業が長い時間をかけて培った確かな技術力を活かした新たなコンセプトによるブランド創造と、流通革新による新規市場開拓戦略により地場産業の振興を図る。
23	竹田商工会議所 (大分県)	【 地域商社たけたマルシェの食開発事業 】 まちの駅商社を設立し、特産加工品の新商品開発事業を行う。そのため、主な販売商品、商品調達方法、集客及び売上向上策、出品事業者に対する活動が持続可能なものとなるよう地域資源を活用した調査に取り組むものとする。

2. 本体事業1年目（商工会議所37件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	札幌商工会議所 (北海道)	【さっぽろワンハンドスイーツを核とした食べ歩き観光プロジェクト】 高い技術力を持つ札幌市内の複数の菓子店等が、北海道産食材を主原料とした“さっぽろワンハンドスイーツ”をテーマに新商品を開発し、さっぽろスイーツを食べながら観光施設めぐりや街歩きをする新たな札幌の観光スタイルを提案・創造する。
2	美幌商工会議所 (北海道)	【体験・コミュニティを活かした滞留型観光客創出事業】 滞留型観光客の創出に向けて廃校舎を釣り・天体観測などの愛好家が使用する“部室”に活用して体験・コミュニティを観光商品化する。また、地域資源を活用した30種類のプランを提供するパンフレットを試作開発する。
3	登別商工会議所 (北海道)	【地域間連携事業「室蘭・伊達・登別魅力再発見プロジェクト」】 登別・室蘭・伊達の三市がもつ魅力ある地域資源を有機的に結びつけることで新たな広域的な観光圏を構築し、周遊型の観光メニューとなる商品の開発や商品PRツールの開発、運営体制の調査研究と、それらを活用した情報発信を行う。
4	盛岡商工会議所 (岩手県)	【「VISIT MORIOKA」プロジェクト】 モニターツアーの実施により観光資源を再検証し、さらにはWEBサイトによる情報提供や新たな体験メニューの提案などを行うことにより中心市街地での滞在時間を伸ばして交流人口を増加させ経済効果を上げる。
5	白石商工会議所 (宮城県)	【蔵王山麓の素材とeコマースによる「白石三白」ブランド化事業】 白石温麺（うめん）・和紙・葛を「白石三白」と称して地元物産の象徴としてきたが、旧来の白石三白にこだわらない新しい「白石三白」の開発と「地域ブランド」イメージの創生を目指す。またSNSの活用によりeコマースに繋ぐ仕組みを構築する。
6	酒田商工会議所 (山形県)	【豪商の面影を残す歴史的資源等を活用した体験企画発信事業】 旧鍛屋、山王くらぶ、山居倉庫などを活用して、「庄内刺し子」や「傘福」の体験制作を取り入れた旅行商品を造成する。また、「北前船による歴史、文化、交易」のテーマを取り入れたプロモーション映像を制作する。
7	鶴岡商工会議所 (山形県)	【城下町×食文化×シルクによる鶴岡観光価値開発プロジェクト】 AR（拡張現実）を活用した「観る・買う・食べる・学ぶ」情報の提供による観光開発と「鶴岡シルク」を使った商品の開発・販路拡大を図る。
8	新庄商工会議所 (山形県)	【新庄SOUL風土 食開発プロジェクト】 観光客が市内の店舗で気軽に食することができる、地域資源を活用した新定番メニューと土産品開発を実施する。新庄の風土に根差した食の伝承と地域外への食文化発信を通じ、食をメインにした観光誘客を推進する。
9	小千谷商工会議所 (新潟県)	【今が旬！おぢや観光プロジェクト ～新たな魅力の創造と発信～】 これまでと異なる切り口から新たな観光プランを創出し提案・発信するとともに、新たに複数の商品開発を行う。併せて観光案内の機能を持つコンシェルジェを養成しガイド機能を強化し顧客満足度を高める。
10	加茂商工会議所 (新潟県)	【加茂SAKEプロジェクト ～酒と鮭を活用した観光開発】 酒と鮭をテーマに観光商品を開発。酒蔵見学を組みこんだまち歩きツアー、加茂川に遡上する鮭を活用した新特産品開発、日本酒に合う鮭料理の研究等に取り組む。
11	七尾商工会議所 (石川県)	【能登七尾の地域資源を活用した商品開発と普及による販路開拓事業】 昨年度の調査研究事業により、七尾の地域資源に対する信越地域の関心の高さを再認識したと同時に流通コスト、鮮度保全等の課題も抽出した。この課題解決に向け、商品の開発・改良と信越地域の商談会、展示会等への出展により、販路開拓につなげていく。
12	下諏訪商工会議所 (長野県)	【酒蔵とパワースポットとまち歩きのコラボによる観光商品開発】 地域にあるパワースポットを繋ぎ、新たなモデルコースの造成を行い、目的を持った滞在時間の延長と併せた観光消費額の増加を目的として、土産品開発なども実施する。

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
13	飯山商工会議所 (長野県)	【飯山仏壇「新スタイル仏壇」開発プロジェクト事業】 国の伝統的工芸品「飯山仏壇」の伝統技術を活かしつつ、変化している住宅事情や現代生活に適合する新しいスタイルの仏壇の開発を行い、『仏壇からリビングへ』の商品コンセプトで後継者が生業として経営できる市場の開発を目指す。
14	千曲商工会議所 (長野県)	【杏都「アプリコット・ドリンク」プロジェクト】 千曲市の重要地域資源である杏を活用したドリンクを開発し全国へ展開する。市内の多くの飲食店などで提供できるドリンクメニュー（ジュース、リキュール、カクテルなど）の開発を行い、杏のさらなる可能性に挑戦する。
15	ひたちなか 商工会議所 (茨城県)	【ほしいも魅力発信プロジェクト】 アスリート、若い女性、乳幼児などに向けた魅力ある新商品を開発する。旧県立那珂湊第二高等学校をリニューアルし、「ほしいもミュージアム」を起点に、周辺の地域資源を活用して観光ツアーを開発する。
16	佐野商工会議所 (栃木県)	【天明（てんみょう）鋳物を資源とした体験型産業観光ルートの開発】 天明鋳物製「銚子」を、現代のライフスタイルの中でどう使ってもらうかを提案するとともに、天明鋳物の工房などを結んだ体験型産業観光ルートを開発し、天明鋳物による地域活性化を図る。
17	深谷商工会議所 (埼玉県)	【深谷『渋沢栄一のまち物語』プロジェクト】 観光ルート「渋沢栄一のまち物語」の実証実験を行うとともに、「渋沢栄一まち物語」のストーリー作成を行い、併せて、新・ご当地グルメの開発とイベントにて試食と観光とグルメに関するアンケートを実施する。
18	甲府商工会議所 (山梨県)	【マンガ・アニメと地域資源を融合したコンテンツ活用による新観光創出事業】 若年層に支持され、また中高年齢層にもわかりやすいツールとして存在するマンガ・アニメ、特に甲府市に関連する作品等を活用し、地域資源である甲府城を中心とした城下町文化並びに魅力的な地場製品の融合による新たな観光スポット等の創出を図る。
19	富士吉田商工会議所 (山梨県)	【富士山を活かしたブランド商品作り】 富士山の歴史・文化を取り入れた、新たなブランドを創出し、ブランドの顔となる商品をクリエイター、地域事業者と連携し作成する。この取り組みを通じ、地域全体に「クリエイティブなまち」として新たな価値を創造する。
20	三島商工会議所 (静岡県)	【新四ツ辻文化の街・三島 温故創新プロジェクト】 三島の『四ツ辻文化』とそれにまつわる資源の発掘・整理をもとに、独自の伝統文化を活かした資源の磨き上げとストーリー付けを行い、発信力と競争力ある三島ブランドの創出に向けた特産品開発と観光開発に取り組む。
21	袋井商工会議所 (静岡県)	【「花火のまち袋井」エリア観光で賑わうまちづくりプロジェクト】 「ふくろい遠州の花火」をキーとして地域資源を相互に関連付け、日帰り観光から滞在型観光へと誘導する旅行商品を開発し、経済波及効果の向上とともに、年間を通じて賑わいのある「花火のまち袋井」を目指す。
22	瑞浪商工会議所 (岐阜県)	【リサイクル陶磁器による美濃焼の新たなブランド展開プロジェクト】 地域で取り組んできたリサイクル食器製造のシステムをベースとしつつ、環境性に加えて新たなデザイン性、機能性を持ったリサイクル陶磁器を開発し、市場性のある瑞浪発のオンリーワンの製品を発信していく。
23	名古屋商工会議所 (愛知県)	【産業観光を核としたビジネス客誘致促進プロジェクト】 見学可能な中小・小規模のモノづくり企業ネットワークを形成し、各社の受け入れ態勢の向上とビジネス客の観光誘導を意識した商品造成を図るとともに、主にビジネス客をターゲットとした土産品として「技術を活かした新たな特産品」の開発を目指す。
24	彦根商工会議所 (滋賀県)	【ひこねアスパラガス・プロジェクト（美食体感&プレミアム）】 昭和20年代の全盛期から20分の1まで生産が落ち込んだ彦根産ホワイトアスパラガスを中心に再興させ、アスパラガス本来の美味しさを再認識できる体感型美食ツアーと、近江牛等地域食材と組み合わせたプレミアムな特産品を開発する。
25	泉大津商工会議所 (大阪府)	【大阪繊維産地活性化プロジェクト】 大阪は毛布やタオル、セーター等の日本で誇れる繊維産業の集積地である。ただ、OEM生産が中心であったため、知名度がない。繊維にかかわる業種を集め製品開発やその製品や技術のPRをするための展示会を実施する。

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
26	総社商工会議所 (岡山県)	【「フルーツシューケーキ」を核にパンわーど総社を確立する事業】 パン屋さんをつなぐ商品として考案した「フルーツシューケーキ」への参画意欲の醸成をはかり商品開発を推進する。徹底的な情報発信により、「パンわーど総社」という総社ブランドの確立を目指す。
27	福山商工会議所 (広島県)	【ばらの酵母菌で瀬戸内・福山の六次産業を醸すプロジェクト】 福山市の花である福山産のばらの花から分離した有用酵母菌を活用して、地元産のブドウを利用したワイン等の果実酒およびそれに合う新食感のパンを開発することで相乗効果が期待され、第六次産業の育成にもつながる。
28	府中商工会議所 (広島県)	【中心市街地賑わい・地域コミュニティ基幹店育成事業】 顧客の高齢化や近隣の大型店への消費流出による中心市街地の空洞化に歯止めをかけるため、「一店逸品運動」による個店の魅力向上と、中心市街地の外へ目を向けた情報発信・企画、さらには、将来の顧客開拓のための若年世代対象のイベントを開催。
29	須崎商工会議所 (高知県)	【高知県須崎発！ウツボ全国展開商品開発プロジェクト】 昨年度の調査研究で検討した試作品をブラッシュアップし、商品化に向けて必要な活動を行う。「須崎＝ウツボの町」を力強くPRできる商品の開発を目的とし、少なくとも3商品は実際に年度内に販売できるようにすることを目標とする。
30	宿毛商工会議所 (高知県)	【宿毛旅がきっかけ「体感」健康増進プロジェクト】 ニューツーリズムを商品化。全国展開することで交流人口の増加、日本一高齢者に優しい街を目指して定住人口の増加に繋げたい。必要な知識、情報の収集と観光プラン、体験型、交流型コンテンツの開発を行う。
31	八女商工会議所 (福岡県)	【八女産オリーブを活用した高品質商品の開発】 八女産オリーブを活用した「高品質のオリーブ商品」を開発し、外部評価を受けながら商品化できる基盤をつくる。
32	柳川商工会議所 (福岡県)	【水郷柳河「さげもん舟」運行とまちあるきモニターツアー事業】 柳川の代名詞である「お堀めぐり」の新たなルート設定や「どんこ舟」に「さげもん」を組み合わせた「さげもん舟」の運行、名勝「三柱神社」や柳川城址を巡る「まちあるき」のモニターツアーを実施し、回遊性を高めるための観光商品の造成を行う。
33	小城商工会議所 (佐賀県)	【きになる小城のきになる魅力発見事業】 九州の小京都・小城には歴史・文化資源が多数点在しているが、観光資源として十分に活かされていない。このため文化資源を活かし新たに神社仏閣の御朱印帳を作成、観光ルート化を図る。また羊羹、清酒および鯉料理等を活用した新たな製品開発・普及に向け取り組む。
34	水俣商工会議所 (熊本県)	【「みなまたキッチン」を中心とした食ビジネス創出プロジェクト】 地域内の多様な主体（市民・事業者・生産者）や取り組み、資源等を束ねながら、“食のしごと”づくりを通じた、地域と食のつながりを生み出すハブ拠点としての「みなまたキッチン」の設立に向けたモデル事業を実施する。
35	宇佐商工会議所 (大分県)	【異業種連携による「宇佐のチカラ」発信事業】 宇佐市は国宝宇佐神宮を中心とした観光資源に恵まれ、また海、山に囲まれた広大な宇佐平野を有する。豊富な農林水産資源を活用した特産品開発、新メニュー開発を行い、宇佐の魅力を全国へ向け情報発信することで入込客数の増加を目指す。
36	奄美大島商工会議所 (鹿児島県)	【名瀬まち商店街観光まちづくり委員会観光商品・特産品開発事業】 奄美市中心市街地の伝統文化や歴史遺産を活用したまち歩き観光商品と伝統食材を使った特産品の開発。将来の展望としては、旅行ツアーなどに組み込み、現在来客数が減少している奄美市中心商店街への集客・消費活動の喚起につなげる。
37	那覇商工会議所 (沖縄県)	【琉球王朝大交易の歴史を資源とする那覇市の地域ブランディング】 那覇市の地域ブランド「ナハイズム」で新たな商品が生まれ続け自走できるよう「ブランディング戦略」「体制・仕組み作り」「商品開発（試作品作り）」の3つの事業が効果的に連動する基盤を構築する。

3. 本体事業2年目（商工会議所7件）

No.	実施商工会議所 (都道府県)	事業概要
1	佐原商工会議所 (千葉県)	【伊能忠敬翁の地域経営手法を範にとる佐原地域ぐるみビジネス展開プロジェクト】 本体1年目で得られた成果から、さらに必要なものを導きだす。「佐原地域経営学読本」のサブテキストを整備し、モニターツアーをブラッシュアップして、地域全体での受け入れ態勢を整備する。
2	富士吉田商工会議所 (山梨県)	【富士山まちなか文化遺産を活用した観光商品開発】 世界文化遺産・富士山の門前町としての役割を果たしてきた富士吉田のまちなかに根ざしている、富士山の恵みが生み出してきた文化に関わる観光商品開発を推進し、「富士山のまちなか観光」を実現する。
3	岐阜商工会議所 (岐阜県)	【岐阜シャツプロジェクト 美濃和紙を活用した和装製品の販路開拓】 「繊維のまち」として知られる岐阜市は素材から縫製までをすべて岐阜で行うことができる地域特性を持っている。参画企業と共にアパレル素材や商品を開発し、企業連携・デザイン力の強化をはかり岐阜の繊維産業のブランド力向上をめざす。
4	大府商工会議所 (愛知県)	【健康ちよい旅inおおぶ】 健康都市大府ならではの健康教室および地域資源を活用した食・文化を巡るモニターツアーを実施。“大府市”＝“健康都市(まち)”というイメージ向上を図り地域の活性化に資する。
5	鳥羽商工会議所 (三重県)	【みんなを元気にするワンハンド和食とスイーツ全国発信PJ】 過年度開発の地場産品を活用した和食やスイーツなどを、商品化に向けさらにブラッシュアップすると共に、ワンハンド和食/スイーツを片手に産業施設等を巡るコースを策定。鳥羽市の交流人口増加と活性化に繋げる。
6	彦根商工会議所 (滋賀県)	【ひこねプレミアム甲冑プロジェクト ～戦国・江戸産業復活～】 過年度製作した甲冑試作品を改良し、完成度が高く、プレミアムな甲冑を開発する。さらに、製造・販売体系を整備し、展示会出展等により販売経路やニーズの調査を行うことで、産業化も視野に入れた特産品開発を行う。
7	防府商工会議所 (山口県)	【学習意欲の高い女子を中心とした新！『産業観光』ルートの構築】 産業観光に興味を持つ「産業女子」をメインターゲットに、防府の新たな観光ルート開発や地域ブランドを活用した「食」「土産品」の開発を行い観光交流人口の増大と街の賑わい創出を目指す。